

令和5年度 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所 うえるずらいふ大手 自己評価・外部評価 評価表

タイトル	項目番号	項目	自己評価					コメント	外部評価 コメント
			実施状況						
			5	4	3	2	1		
<b>I 構造評価 (Structure) [適切な事業運営]</b>									
<b>(1) 理念の明確化</b>									
サービスの特徴を踏まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「ご利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている		● ● ●				<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所独自理念:「ご利用者のイキルを支える介護力」。</li> <li>・介護職員のスキルアップを毎年図り、ご利用者へのより良いサービスの提供につなげることができています。</li> <li>・在宅での生活をサポートする上で、重要な取り組みととらえています。</li> <li>・日々の観察を通して「心身の機能の維持回復」の実現に向けて努力している。</li> <li>・理念「イキルを支える介護力」を頭において取り組んでいます。</li> <li>・利用者により良いサービスを提供したいと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービスの特色である短時間ケア等、利用者がサービスを必要とする時にサービスが提供されることできめ細やかな対応が可能であることを活かし、在宅生活の継続性の担保と自立支援の視点でサービス提供に努めていただければと思います。</li> </ul>
<b>(2) 適切な人材の育成</b>									
専門技術の向上のための取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴及び事業所の理念について、その内容を十分に認識	●	●	●			<ul style="list-style-type: none"> <li>・十分に認識していると思います。</li> <li>・安心安全なサ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・24時間対応が基本となるサービスの性質上、職</li> </ul>

タイトル	項目番号	項目	自己評価					コメント	外部評価 コメント
			実施状況						
			5	4	3	2	1		
		している						ービスを提供できるとともに、この24時間サービスがご利用者にとって必要不可欠であると、職員全て認識しています。 ・認識している	員間の共通認識、情報共有は大変重要だと思いますので、インシデントやヒヤリ・ハットについての共有と再発防止協議にも努めてください。
	3	運営者は、専門技術（アセスメント、随時対応時のオペレータの判断能力等）の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している		●	●			・職員の資質向上を図る為、各種の配慮が来ています。 ・コロナの影響で、社内、外の集合研修は実施されていませんが、毎月ビデオ研修にて、法令順守、接遇等の個々への意識づけを必ず行っております。 ・研修委員会を通して配信される動画の視聴を毎月行っている。 職員全員が最低月1回のデジタルによる研修を行い各自がスキルアップに努めている。また各自情報共有を行っている。	・虐待防止や身体拘束等適正化、BCPにおいても研修計画に基づいた定期的な研修会の開催をお願いします。 ・研修委員会の活動により、研修の体制づくりや個人のスキルアップの機会が充実しているのだと思いました。
	4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している			●			・職員それぞれの個性を生かすための人事に取り対応して頂いています。	・職員間の負担軽減や業務効率化のための配置を引きお願いします。

タイトル	項目番号	項目	自己評価					コメント	外部評価 コメント
			実施状況						
			5	4	3	2	1		
								<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの得意とする分野に特化し、サービスの向上を目指しています。</li> <li>・出来るだけ配慮している。また職員の個性を活かすための工夫している</li> </ul>	
介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、ご利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が十分に確保されている			● ● ●			<ul style="list-style-type: none"> <li>・常に状況に応じて、介護職・看護職の共有はされている。</li> <li>・個々で気になる点や知りたい情報は確保できているが、もっと情報共有が必要と思う。・情報のとらえ方が各職員で食い違う点があるため共有場が必要です。</li> <li>・月に一回のミーティングでの情報共有と問題が起きた時などはその時々で必要な情報を共有している。</li> <li>・何かあるごとに情報交換を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職種間での情報共有と理解の平準化を図りながら。インシデント、アクシデントの発生につながる事のないようミーティング頻度の見直しや随時共有のルール等、必要に応じた対応・対策をご検討ください。</li> <li>・多職種の視点や個人の視点等、様々な情報が集まると思うので、やはり全体での情報共有も重要なのだと思いました</li> </ul>

タイトル	項目番号	項目	自己評価					コメント	外部評価 コメント
			実施状況						
			5	4	3	2	1		
<b>(3) 適切な組織体制の構築</b>									
組織マネジメントの取組み	6	ご利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置（業務・シフトの工夫）を行っている		●	●			<ul style="list-style-type: none"> <li>・効率良いサービスの提供をする為、シフトの工夫は常に行っています。</li> <li>・日によっては、職員の欠員もあり、その時には実業務職員で工夫をし対応しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・欠員発生日のケアについて、役割分担を効率的に行いながら、サービスの質担保に努めてください。</li> </ul>
介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等（サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等）を、サービスの提供等に適切に反映させている		●	●			<ul style="list-style-type: none"> <li>・各関連事業所の意見をできる限り参考にし、個々のふり返りを行い介護、看護職員へ情報の共有をしている。</li> <li>・常にサービス向上の為、この意見を参考にしている。</li> <li>・自治会の方の貴重な意見が聞いて参考になった。</li> <li>・会議での意見は参考になるものばかりで、介護、看護職間で共有を行っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部有識者による客観的意見や実際にケアの提供を受けているご利用者、ご家族様の主観的意見を活かし、さらなるサービスの質向上に活用してください。</li> </ul>

タイトル	項目番号	項目	自己評価					コメント	外部評価 コメント
			実施状況						
			5	4	3	2	1		
<b>(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備</b>									
ご利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	ご利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で) 必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている	●	●				<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報には常に注意をしております。</li> <li>・シフト上、勤務がバラバラになる事も多いが、その都度、連絡ノート、業務日報でご利用者の情報を確認しています。</li> <li>・特変があればその都度関係機関に連絡を取り対応している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報管理、取扱い方針の順守等を引き続き徹底していただきながら、適時の情報共有に努めていただければと思います。</li> <li>・情報共有の際は主観に偏ることなく、客観的視点からのケア検討も意識してお願い致します。</li> </ul>
<b>(5) 安全管理の徹底</b>									
職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている(交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等)	●		●			<ul style="list-style-type: none"> <li>・対策は委員会を代表に常に実施している。</li> <li>・災害時の対応をマニュアルに沿って動けるよう、常に意識しています。</li> <li>・シフト上まだ実際に訓練に参加できていない職員を対象に、今後も取り組んでいきます。</li> <li>・防災訓練を通して災害への意識を高めているが、具体的に動けるよう更にマニュアルの作成や実施が必要と考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年4月よりBCP策定が義務化されております。災害発生時や感染拡大時の対応について、平時から定期的な研修や机上訓練の実施等により、施設全体での共通認識を深めてください。</li> <li>・防災訓練の実施やマニュアルの見直し時期等について、具体的な実施状況等を教えていただきたいです。</li> </ul>

タイトル	項目番号	項目	自己評価					コメント	外部評価 コメント
			実施状況						
			5	4	3	2	1		
								・状況に合わせて確認を行い、安全管理に努めている。また夜間時の訪問など防犯ブザーの携帯。	
ご利用者等の個人情報の保護	10	事業所において、ご利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている	●	●	●			<ul style="list-style-type: none"> <li>・共有されています。</li> <li>・外部への情報漏洩を防ぐため、常に随時管理しています。</li> <li>・守秘義務に基づき、管理運営されています。</li> <li>・個人情報の保護については「職員必携」の内容を遵守するよう努めている。</li> <li>・適切に取り扱っています。きちんと管理運営を行っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT活用も増加傾向かと思っておりますので、情報管理に関する規定や個人情報保護方針の確認をお願いします。</li> <li>・個人情報保護法及びプライバシー保護について、医療・介護機関で取り扱う要配慮個人情報の取り扱いについても周知徹底を図られてください。</li> </ul>
<b>II 過程評価 (Process)</b>									
<b>1. ご利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供</b>									
<b>(1) ご利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成</b>									
ご利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	ご利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている		●	●			<ul style="list-style-type: none"> <li>・日によって変化しているかモニタリングを行い、ご利用者への対応が敏速に出来ています。</li> <li>・常に関係各所の意見も取り入れその都度対応が</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用者の状態に応じた個別ケアをチームアプローチで実践できるよう、ケアプラン内容の共通認識をお願いします。</li> </ul>

タイトル	項目番号	項目	自己評価					コメント	外部評価 コメント
			実施状況						
			5	4	3	2	1		
								出来ている。 ・その人にあった対応を心掛けています。	
	12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている		●	●			・情報の共有が迅速に行われている。 ・随時連絡を取り合い、その状況に取り組んでいる。 ・看護の面からの注意点、アドバイスについて意見交換を行っている。 ・何かあればお互いに情報の共有に努めています。	・24時間対応の特性から相互の職能を活かした連携をお願いします。
ご利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	ご利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている		●	●			・ご利用者の出来る事、出来ないことを定期的に評価・把握し、サービスに役立てている。 ・PT等の意見も取り入れ身体機能の向上も図っている。 ・デイサービスや機能訓練の推進を行っている。 ・ご利用者の出来る事、出来ない事をしっかりと見極めて対応している。	・自立支援の視点で専門職によるアセスメントや評価も踏まえ、ご利用者の持つ力を活用した支援をお願いします。

タイトル	項目番号	項目	自己評価					コメント	外部評価コメント
			実施状況						
			5	4	3	2	1		
	14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないように、ご利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている		●	● ●			<ul style="list-style-type: none"> <li>・常にご利用者の変化を確認し各関係者との協議を行っている。</li> <li>・予測する事もリスクの軽減に繋がると考えている。</li> <li>・重度化防止のため早目の対応を心がけている。</li> <li>・本人、家族の意向など日頃よりしっかりと把握して何か変化があればその都度。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予後予測、リスクマネジメントを踏まえて、ご利用者やご家族の QOL、EOL を意識したケアを心がけてください。</li> <li>・本人や家族の意向を確認し、専門職として予後予測をしながらの支援が大切なのだと思います。</li> </ul>
<b>(2) ご利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し</b>									
計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、ご利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定する等、柔軟な運営に努めている	● ●	●			<ul style="list-style-type: none"> <li>・柔軟な対応行いご利用者の変化を確認し緊急コールにも随時訪問している。</li> <li>・ケアマネジャーとの連携を図りプランの見直しを行っている。</li> <li>・他ご利用者の利用時間が重なる場合があり、苦慮する事もあり、その都度同意を求めて訪問時間の調整を行い柔軟な対応を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数利用者のブッキング対応もあり、マンパワー確保等も苦慮されておられることと思います。</li> <li>・ケアプランの位置づけ以外の対応について、予測的なアセスメントも心がけながら、効率的な稼働を図られてください。</li> <li>・本人、家族だけでなく、事業所としてケアマネジャーとの情報共有、連携も重要になると思いま</li> </ul>	



タイトル	項目番号	項目	自己評価					コメント	外部評価コメント
			実施状況						
			5	4	3	2	1		
								<ul style="list-style-type: none"> <li>・随時変化に応じた対応を行っている。</li> <li>・緊急時のコールがあれば随時対応を行っている。</li> <li>・ご利用者、家族の要望を確認しケアマネジャーとの連携を図りプランの見直しを行っている。</li> </ul>	す。
継続したモニタリングを通じたご利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、ご利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている		● ● ●				<ul style="list-style-type: none"> <li>・常にモニタリングを行い職員に情報の共有と、ケアマネジャーにも報告しながら状況に対応している。</li> <li>・職員には、連絡ノートでの連絡を行い、情報の共有を行っている。</li> <li>・ご利用者の変化など他の職員からの情報収集を行いケアマネジャーへ報告している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアの実行状況についてのモニタリングは、利用者へのケアの質の向上につながるとともに、サービスの質向上にもつながると思いますので、モニタリングをケアに活かせるよう意識付けをお願いします。</li> <li>・モニタリングを通して、状況変化した際にすぐに動ける体制づくりが必要だと思いました。</li> </ul>
<b>(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供</b>									
介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を活かした役割分担が行われている		● ●	●			<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護職・看護職にて活かした役割分担が出来ている。</li> <li>・介護、看護と協力し同じ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職種間での連携を継続していただき、一体的なサービス提供による特性を活かした取り組みをお</li> </ul>

タイトル	項目番号	項目	自己評価					コメント	外部評価コメント
			実施状況						
			5	4	3	2	1		
								目的を持ち連携作業を行いながら役割分担を行っている。 ・専門性を生かした役割分担ができています。 ・それぞれ専門性を活かし役割分担を行っている。また状況にあわせて介護、看護と協力して行っている。	願います。
看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復等の観点から、指導、助言が行われている	●	●	●			・看護師からの指示がある。 ・状況に応じて指示があり、実行できています。 ・変化があった場合、情報を共有し指導・助言を行っている。 ・必要に応じて指導、助言が行われている。	・専門性を活かした相互の学びは大切であり、OJTの取り組みの充実も継続していただければと思います。
<b>(4) ご利用者等との情報及び意識の共有</b>									
ご利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、ご利用者等に本サービスが「ご利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行		●	●			・常にご利用者へサービスを提供する新規・更新についての説明を行っております。 ・サービスの説明をしていますが、勘違いされて	・懇切丁寧な説明、合意形成や意思決定支援に努めていただき、サービス内容の齟齬が生じることがないように、事業所全体での共通認識をお願いしま

タイトル	項目番号	項目	自己評価					コメント	外部評価 コメント
			実施状況						
			5	4	3	2	1		
		われている						<p>いるご家族も見受けられその都度誤解の無いようにしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・何でもしてくれると思っているご利用者も少ない。そのため繰り返し説明を行うが、理解出来ていないかたもいる。</li> <li>・ご利用者、家族へサービスを提供する為の説明を行っています。また何かあればその都度説明をしています。</li> </ul>	<p>す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者、家族への説明の難しさがわかりました。</li> </ul>
ご利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、ご利用者等に十分な説明を行う等、共通の認識を得るための努力がされている		●	●			<ul style="list-style-type: none"> <li>・初めにこれからのサービスの内容を説明して共通の認識をもって頂くよう努めています。</li> <li>・新しいサービスを提供するときなど日々改めて声かけしながら実施するようにしています。</li> <li>・何か不都合があればご理解が得られるように説明を行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用者、ご家族が安心してサービスをうけることができる基盤に適時適切な情報提供や説明方法が重要かと思いますので、職員のみなさま全体の意識統一をお願いします。</li> </ul>
	21	ご利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・		●	●			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用者の変化・状況を確認し計画作成責任者を</li> </ul>	20に同じ。

タイトル	項目番号	項目	自己評価					コメント	外部評価 コメント
			実施状況						
			5	4	3	2	1		
		適切な報告・相談等が行われている						通じて、ご家族へご利用者の現在の状況変化に対するサービス内容の変更を連絡している。 ・ご利用者の状況の変化があった場合、ご家族へは適宜報告を行っている。 ・連絡、報告及び説明を行っています。	
<b>2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント</b>									
<b>(1) 共同ケアマネジメントの実践</b>									
ご利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、ご利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている		●	●			・都度情報の提供が行われている。 ・現在のご利用者の状況を連絡し、それに合ったサービス内容を検討している。 ・ケアマネジャーとは日頃から連携をとり情報を共有している。 ・その都度情報の提供を行っています。またご利用者の状況を連絡し、それにあつたサービス内容を検討しています。	・ケアマネジャー立案のケアプランと事業所立案の個別計画との整合性を図り、目標達成に向けたケアの実行に心がけてください。

タイトル	項目番号	項目	自己評価					コメント	外部評価 コメント
			実施状況						
			5	4	3	2	1		
	23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案（地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む）が行われている		● ●	●			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアマネジャーとの連携を行い、ご利用者の状況などを報告し、そのための支援プランの提案がされている。</li> <li>・日頃の変化を報告し今後の支援プランに反映している。</li> <li>・ケアマネジャーとの連携があり状況を連絡する事で、支援するプランに提案することが出来ている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議の場等を活用し、インフォーマルサポートに関する資源についての情報取得にも努め、利用者が活用し得る地域互助の活用も意識した支援をお願いします。</li> <li>・包括としては、日頃より圏域内の社会資源の収集に努め、ケアマネジャーや事業所へ情報提供できるようにしていきたいと考えます。</li> </ul>
定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、ご利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている		● ● ●			<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス担当者会議には、必ず参加して近況報告し確認行う。</li> <li>・サービス担当者会議において、各関係事業所からの意見を取り入れ今後の支援プランに常に役立っている。</li> <li>・多職種からの意見を聞ける重要な場として活用している。</li> <li>・ケアマネジャーとの連携があり状況を連絡する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標や、目標達成のために必要なケアの実施、役割分担について共通理解を図るためのプロセスとして、多職種協働や連携の場も有効に活用してください。</li> </ul>	

タイトル	項目番号	項目	自己評価					外部評価 コメント	
			実施状況						
			5	4	3	2	1		
								事で、支援するプランに提案することが出来ている。	
<b>(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献</b>									
ご利用者の在宅生活の継続に必要となる、ご利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	ご利用者の在宅生活の継続に必要となる、包括的なサポート（保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む）について、必要に応じて多職種による検討が行われている		●	●			<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に自立支援を頭におきながらサポートについて検討している。</li> <li>・必要に応じてご理解を得られれば、サービスの提供を行います。</li> <li>・外部のケアマネジャーとの連携が取りにくい時がある。</li> <li>・その都度何かあれば多職種による話し合いが行われています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅での生活継続においては、フォーマルのみならず、インフォーマルサポート活用への視点も大切です。</li> <li>・外部ケアマネジャーとの連携困難の原因や背景を検討し、解決することが利用者支援のひとつでもありますので、事業所内での協議をお願いします。</li> </ul>
	26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際等に、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている		●	●			<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている。</li> <li>・退院前カンファレンスなど対応し情報共有を行う。</li> <li>・ケアマネジャーへ連絡を取り情報の共有、そして支援内容を決定している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入退院、入退所時の移行支援は大変重要です。包括的・継続的な観点から、リロケーションダメージの抑止等、継続的な情報把握やモニタリングによる支援をお願いします。</li> </ul>

タイトル	項目番号	項目	自己評価					コメント	外部評価 コメント
			実施状況						
			5	4	3	2	1		
							・必要に応じて検討して情報共有を行いサービスを提供しています。		
多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域におけるご利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている			● ● ●		<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な他職種間との連携を図り、常に情報の共有が出来ている。</li> <li>・関係各所の情報を取り込み支援内容に役立てている。</li> <li>・多職種と連携を図り情報の共有を行っています。</li> </ul>	・運営推進会議の場などを活かし、ご利用者の地域生活継続のために必要な多職種連携や他制度の活用等、制度横断的な連携も意識した支援をお願いします。	
<b>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画</b>									
<b>(1) 地域への積極的な情報発信及び提案</b>									
介護・医療連携推進介護の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている			● ● ●		<ul style="list-style-type: none"> <li>・迅速に行われています。</li> <li>・各職員の目の届く範囲に記録を閲覧出来るようにしている。</li> <li>・情報を元に常に意見を頂いている。</li> </ul>	・地域に開かれた施設づくりを行うためにも、情報発信や開示の工夫をお願いします。	
	29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている			● ● ●		<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な発信はされているが、どれほど周知されているか確認が必要。</li> <li>・コロナの影響は大分落ちついてきたが、外部との連携を積極的に行って</li> </ul>	・行事等を通して地域住民との交流ができたことで、良い広報活動になったのではないかと思います。	

タイトル	項目番号	項目	自己評価					コメント	外部評価 コメント
			実施状況						
			5	4	3	2	1		
								いく。 ・R4年度は秋祭りを実施し、地域との交流を図った。 ・定期的な発信はされているが、広報周知がされているか確認が必要。	
<b>(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画</b>									
行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している		●	●	●		<ul style="list-style-type: none"> <li>理解しています。</li> <li>職員によっては理解出来ていない人もいる。</li> <li>事業所で、把握、認識できるようなシステムをこれからも構築し発信していきます。</li> <li>十分に理解しているとは言いがたい。</li> <li>理解しています。</li> <li>職員によっては理解できていない人もいる為、今後一人でも多く理解してくれればと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>長崎市の状況や将来予測に基づいた計画の理解や地域包括ケアシステムの中でのサービス事業所としての役割について周知徹底をお願いします。</li> <li>地域包括ケアシステムの理解について、研修委員会を中心にテーマを検討いただければいかがでしょうか。</li> </ul>
サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている		●	●			<ul style="list-style-type: none"> <li>志向されています。</li> <li>特定に限定せず地域への貢献を図っていく。</li> <li>今は、範囲外でのサービス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域貢献も意識した取り組みや事業所としての役割のアピールをお願いします。</li> </ul>



タイトル	項目番号	項目	自己評価					コメント	外部評価 コメント
			実施状況						
			5	4	3	2	1		
								<p>スは実施されていない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・志向されています</li> <li>・地域への貢献も図っています。</li> </ul>	
安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等（保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等）が行われている			● ●	●		<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題点の共有は心がけていますが、ネットワーク等を活用し問題認識を関係者間で共有し、実際そこに対して行動等は出来ていないので努めていきます。</li> <li>・まちなかラウンジの多職種対象の検討会へ事例を発表し問題提起を行うことができた。医療推進会議へ参加し幅広いネットワークを活用している。</li> <li>・問題点の共有は心がけているが、広い関係者間での共有など思うように出来ていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題点や課題を明確にしつつ、客観的視点でのケアや対応方法のケーススタディも大切だと考えます。</li> <li>・外部研修への参加等の取り組みもされていますので、Off-JTも活用しながら、知識・技術の向上について研鑽をお願いします。</li> </ul>
<b>Ⅲ 結果評価 (Outcome)</b>									
サービス導入後のご利用者の変化	33	サービスの導入により、ご利用者ごとの計画目標の達成が図られている		● ●	●			<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標の達成を目指し日々取り組んでいる。</li> <li>・大旨達成できている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス提供による効果として、目標達成できているのは素晴らしいと</li> </ul>

タイトル	項目番号	項目	自己評価					コメント	外部評価 コメント
			実施状況						
			5	4	3	2	1		
								<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用者との関わり合いを強く意識して日々対応している。</li> <li>・安定した生活が送れていると感じる。</li> <li>・目標の達成を目指して取り組んでいます。</li> </ul>	思います。
在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、ご利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている		● ● ●				<ul style="list-style-type: none"> <li>・感謝のお言葉をご利用者及びご家族から言われました。励みになります。</li> <li>・24時間サービスと言うことで安心感も提供できている。</li> <li>・随時、必要に応じてプランの見直しは、ご利用者にとって安心感・満足していただける要因だと思います。</li> <li>・24時間対応という事でご利用者、ご家族ともに安心感を提供できていると考える。</li> <li>・安心感がえられて本人、家族のとの信頼関係もできている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅生活の限界点を引き上げる大変重要なサービスの位置づけとなりますので、ご本人、ご家族のQOL向上に向けた支援の継続をお願いします。</li> </ul>